



PRESS RELEASE

2013年8月20日

あなたの映像が韓国を代表するハリウッド監督の手で一本の映画に 「わたしたちの映画、ソウル / Seoul, Our Movie」 ～日本からも参加可能なグローバル・プロジェクト～

- 世界中の人々が表現する、それぞれの「ソウル」についての映像を繋げ、一つの映画作品にするプロジェクトが始動
- 韓国を代表する映画監督 PARKing CHANce (パク・チャヌク監督、パク・チャンギョン監督) 監修によるグローバル・プロジェクト
- 公式YouTube チャンネルにて2013年8月20日～11月9日まで世界中から映像作品を募集し、それらをもとに制作された映画を2014年1月に公開

韓国 ソウル特別市—2013年8月20日 ソウル特別市(以下ソウル)は、本日、世界中の人々が参加し、一本の映画を制作するグローバル・プロジェクト「わたしたちの映画、ソウル(Seoul, Our Movie)」を開催します。これは、当市が現在推進している、市の魅力を世界へ発信するプロモーション「ソウル・ブランド・マーケティング・プロジェクト」の一環として行う、映像作品コンテストです。期間中に募集テーマにそった「ソウル」を動画で表現し、YouTube 公式チャンネルを通して、世界中から参加することができます。

当コンテストの審査および同映画の制作は、「オールド・ボーイ」(03年)や「親切なクムジャさん」(05年)などで知られる韓国出身の映画界の巨匠、パク・チャヌク監督と、その弟で、韓国だけにとどまらず世界を舞台に活躍するパク・チャンギョン監督が連名で立ち上げた共同ブランド「PARKing CHANce(パーキング・チャンス)」が監修します。

コンテスト開催期間中に、同プロジェクトの YouTube 公式チャンネルに世界中から投稿された映像作品の中からソウルを表現するのに相応しい 47 点が、PARKing CHANce によって選ばれます。選ばれた 47 点の映像作品には、その後、同監督らによる芸術的なタッチやプロフェッショナルならではの技法を用いた編集が加えられ、それら世界から集まった選りすぐりの 47 点の映像を繋ぎ合せた一本の映画作品が出来上がります。

「わたしたちの映画、ソウル / Seoul, Our Movie」プロジェクトでは、<Working in Seoul(ソウルで働く)>、<Made in Seoul(メイド・イン・ソウル)>、<Seoul(ソウルのひと時)>の 3 つのテーマにそった映像作品を募集しています。<Working in Seoul>ではソウルで仕事をする中で感じられる様々なことを、<Made in Seoul>では日々の生活の中でソウルを連想させるものを、<Seoul>ではソウルならではの美しい瞬間や風景を、映像作品として表現してもらいます。世界中の参加者の映像作品が、ハリウッドでも活躍する映画界の巨匠の作品の一部として世界中の人々の目の触れる可能性のある貴重な機会です。日本の皆様からの応募も心よりお待ちしております。



8月20日、韓国・ソウル市内で会見し、本プロジェクトへの抱負を語る、PARKing CHANce 監督:パク・チャヌク監督(写真左)とパク・チャンギョン監督(写真右)



参加方法:

コンテストへの参加方法はいたってシンプルです。

- 「わたしたちの映画、ソウル / Seoul, Our Movie」の公式 YouTube チャンネル (www.youtube.com/seoulourmovie)へアクセスし、チャンネル登録をします。
- <Working in Seoul>、<Made in Seoul>、または<Seoul>の 3 つのテーマの中から一つを選び、そのテーマをもとに動画を撮影・作成します。
- ご自身の YouTube アカウントで、本プロジェクトの公式 YouTube チャンネルに動画を投稿すれば応募完了です。
- 動画作品は何点でも応募可能です。

作品の選定方法:

映画に使用される最終 47 点の映像作品の候補は、公式 YouTube チャンネルに投稿された動画の再生回数や、「グッド！」ボタン評価の数に基づいて月ごとに選定されていきます。

コンテスト終了後、本プロジェクト監修の PARKing CHANce により、月ごとに選ばれた数々の動画作品の中から 47 点が最終的に映画用の映像素材として選定されます。

(動画作品の投稿はしなくとも、公式 YouTube チャンネルに投稿された動画作品にコメントをしたり、「グッド！」ボタン評価をつけたりすることで本プロジェクトへの参加が可能です。評価した動画が、「わたしたちの映画、ソウル/Seoul, Our Movie」の映像の一部として使用される可能性もあります。)

賞品について:

選ばれた 47 点の映像作成者には、2 泊 3 日のソウル旅行、および「わたしたちの映画、ソウル/Seoul, Our Movie」試写会へのご招待、自動車やノートパソコンなど様々な賞品が授与される予定です。

グローバル・プロジェクト「わたしたちの映画、ソウル / Seoul, Our Movie」について:

今回のプロジェクトで映画制作全体を指揮する PARKing CHANce は、一般市民が制作に参画する映画に強い関心を持ち、世界中の人々に積極的な参加を呼びかけています。PARKing CHANce のパク・チャヌク監督は「アマチュアによる映像作品とプロフェッショナルの映像技術によって作られる映画が、最終的にはどのようなものとして完成するのかとても楽しみにしています」と述べており、同プロジェクトに大きな期待感を示しています。また、パク・チャンギョン監督は「この映画を通じて、今まで誰も見たことのない、真のソウルの姿を世界中の人々へ体感してもらいたい」と述べ、今回の映画制作に対する抱負を語っています。

ソウル市のソ・ジョンヨップ観光政策官は「PARKing CHANce の参加により同映画の制作を進めることができるこことを嬉しく思っています。世界中の人々が参加する同プロジェクトを通じて、ソウルがより多くの人々に愛される都市となり、さらに観光客誘致にも寄与したい」とし、同プロジェクトの成功を祈りました。



「わたしたちの映画、ソウル / Seoul, Our Movie」は来年1月に完成、試写会及びネット上で公開する予定です。詳しい情報は「我らの映画、ソウル / Seoul, Our Movie」公式サイトである(www.seoulourmovie.net)にて引き続き更新する予定です。

※ 以下の詳細は添付資料をご参照ください。

- 添付 1. 'わたしたちの映画、ソウル / Seoul Our Movie' プロジェクト概要
- 添付 2. 3つのテーマ <Working in Seoul>, <Made in Seoul>, <Seoul> の例
- 添付 3. PARKing CHANce について

本件についての報道機関からのお問い合わせ:

エデルマン・ジャパン株式会社
SeoulOurMovieJapan@edelman.com



添付 1. 'わたしたちの映画、ソウル / Seoul Our Movie' プロジェクト概要

	内容
応募日程	<p>応募期間 : 2013年8月20日(火) ~ 2013年11月9日(土) 11:59pmまで(12週間)</p> <p>入選発表(予定): 2013年11月22日(金)</p> <p>※表彰式および完成作品の試写会は2014年1月18日(土)を予定。</p>
応募資格	特になし。映像の撮影可能な世界中の人々。 応募数に制限はありません。
応募作品の条件と規格等	<ul style="list-style-type: none">5分以内の映像作品とし、表現方法はドキュメンタリー、フィクション、再現ドラマ、画像を編集し映像化したもの等、応募者が制作したオリジナル作品で、その他のコンテストに応募していないものに限ります。(パロディ作品は除く)動画投稿サイト「YouTube」へアップロードができるすべての動画ファイル(スマートフォンで撮影した映像も含む)での応募が可能です。応募する映像作品のタイトルには、必ず「Seoul(ソウル)」というワードを入れてください。
募集テーマ	<p>① Working in Seoul(ソウルで働く) ② Made in Seoul(メイド・イン・ソウル) ③ Seoul(ソウルのひと時)</p>
応募方法	<ol style="list-style-type: none">動画投稿サイト「YouTube」上の同コンテストチャンネル(www.youtube.com/seoulourmovie)へアクセスし、チャンネル登録を行う。応募方法および留意事項を確認し、同意する。上記募集テーマから1つを選択し、映像を制作する。同チャンネル(www.youtube.com/seoulourmovie)にて自分の映像作品を応募する。 <p>※映像作品を投稿する際に、映像内容についての説明や映像作品へのリンクを明記 ・応募の際は YouTube のアカウントが必要です。アカウントがない場合は予めアカウントを取得してください。</p>

添付 2. 3つのテーマ <Working in Seoul>, <Made in Seoul>, <Seoul> の例

Working in Seoul (ソウルで働く)

#1

自販機で買ったコーヒーで身体を暖める。かじかんだ手を息で温めながら仕事場へ向かう。私待っているのは、大きいトレーラー車の間で、ちょこんと停まっている大型水槽トラック。この水槽トラックは深夜、空っぽの道路を走りソウルの街にたどり着く。私の愛車が到着したところはノリヤンジン水産物市場。まだ、夜明けながらも、ここはすでに生き生きとする魚のように活気に溢れている。全国、8つの省から水産物が集まるこの場所で、魚たちをソウルの食卓へと送り出す。

#2

待ちに待った夏休み、今日くらいは母を手伝うことにした。朝早く買い物に行き、台所で野菜を洗い、韓国料理に欠かせないニンニクを刻み、ミンチ肉をつくる。色鮮やかな調味料を洗った野菜にあえる。母との呼吸がぴったり合って、あっという間にいくつものおかずが出来上がった。ガラツとシャッターが上がる。私の自宅の一階の、ソウル一美味しいおかず屋さんが営業を開始した。この店の社長は私の母である。

#3

朝8時！「遅刻した…」急いで着替えて家を出た。まだ目覚めてない私は、通勤する人達でごった返す地下鉄2号線に乗った。行き先はソウルの光化門駅。ビジネスマン達を後に、私はそそくさと仕事場に向かう。エスプレッソ・マシンから蒸気機関車のような湯気が立ち上がり、美味しいコーヒーをつくりだす。そう、私はコーヒーの香りで光化門を目覚めさせるソウルのバリスタである。

あなたはソウルでどんな仕事をしていますか。
ソウルでの活躍ぶりを映像で紹介してください。

Made in Seoul (メイド・イン・ソウル)

#1

今日は私の25回目の誕生日。話題のレストランを午後7時に予約した。おしゃれに着飾った親友と記念撮影。あ…写真の中で、笑っている私がついているこのネックレス…昨年、彼が私への誕生日プレゼントにソウル出張から買っててくれたものだった。彼とは数か月前に別れてしまったが、「ソウル」は依然として私のそばにある。

#2

蒸し暑い夏、仕事が手につかない。屋外テラスで少し眠ってみようとしたが、今度はセミの音に邪魔される。すると、涼しい風が吹き始め、過ぎ去りし夏の記憶が思い浮かぶ。5年前の夏、ソウルで交換留学生だった私は、インサンドでショッピングをしていた時に夫と出会ったことを夢に見た。浅い眠りから覚めると私の夫が扇をあおいでくれていた。5年経った今も、私は夫とともに思い出いっぱいのソウルで暮らしている。

#3

職場の上司に怒鳴られた。あまりにも悔しくて辞表を出して逃げ出したかったが、家族のことが頭に浮かび思ひどまった。帰り道、ストレス発散のためクラブへ向かった。話題の音楽が流れていたが、ムードが全然乗らない。するとDJが新しいアルバムをプレイし始めた。たちまちPSYの「江南スタイル」の曲とダンスでクラブは盛り上がった。私のストレスは「江南スタイル」とともに吹っ飛んだ。

周りをよく見てみて。あなたの暮らしには“ソウル”にまつわるエピソードがありますか。
あなたの暮らしの中で見つけた“ソウル”を映像を通してシェアしてください。



Seoul (ソウルのひと時)

#1

昨年、私はソウルで交換留学生として一年を過ごした。ソウルの四季はあまりにも美しくて、素人ながらも一生懸命に写真を撮った。またソウルを訪れる夢を見て、自分で撮ったソウルの四季写真を映像化し投稿する。

#2

桜が舞い散るユンジョンロー・エリア、スキが生い茂る水際、ガラスの外壁が眩しいソウルのビル群、噴水の下でビショビショになって遊ぶ子供たち…

あなたが大事にしているソウルの映像がありますか。あなたの映像は、たった2、3秒の映像であっても、この映画をさらに美しくする背景になります。

添付 3. PARKing CHANce(パーキング・チャンス) 紹介

PARKing CHANce(パーキング・チャンス)は、世界の映画界の巨匠である、パク・チャヌク監督と、韓国を代表するメディアアーティストのパク・チャンギョン監督の兄弟の名前から名づけられたブランド名です。二人の名字である「朴(PARK)」と、名前に共通してある「チャン(CHAN)」を利用した造語で、「駐車場で、「parking chanc(駐車機会、駐車する機会)」を探すように、斬新で稀有なプロジェクトを目指す意味を持ちます。

これまでに、「波乱万丈／Night Fishing」、「オダルスロー」、「青出於藍／Day Trip」、「V」といった4つの作品でタッグを組み、今後も短編映画、ドキュメンタリー、芸術性溢れる実験映画、プロモーションビデオ、コマーシャルなど様々な映像を企画・演出する予定です。

2011年、全編 iPhoneを使用して撮影した、世界初の劇場公開用短編映画「波乱万丈／Night Fishing」では、第61回ベルリン国際映画祭の短編部門で金熊賞の受賞をはじめ、スペイン・カタロニア地方で開催された第44回シッヂエス映画祭では、ニューヴィジョン(Noves Vision)部門最優秀作品賞、そして2011年スパイシアジア広告祭では銀賞を受賞しました。

2012年12月末に発表された第二作目の短編映画「青出於藍／Day Trip」は、パク・チャヌク監督がお気に入りの俳優ソン・ガンホを起用した作品です。得音(パンソリ)(朝鮮の伝統的民俗芸能)に必要な声と様々な発音の技巧を習得すること)をテーマとした作品で、ソン・ガンホが白髪頭の師匠を演じ大きな話題となりました。また、コマーシャルとして作られたこの短編映画に、芸術的価値を与えたと評価されました。

2013年7月末公開された PARKing CHANce の最新作「V」はプロモーションビデオ(PV)であり、演技派女優であり、歌手としても活躍するリ・ジョンヒョン(Lee Jung Hyun)を起用した同作品は「映画のような PV」と話題になり、目新しさがない音楽業界に衝撃を与えました。同作品は芸術性と大衆性を兼ね備えた PV として評価され、動画投稿サイト YouTube で数十万件の再生回数を記録し、世界中の視聴者の絶大な支持を得ました。



PARKing CHANce 監督作品

「V」(2013)
「青出於藍／Day Trip」(2012)
「オダルスロー」(2011)
「波乱万丈／Night Fishing」(2010)

パク・チャヌク 監督作品



Made in... and Seoul
「イノセント・ガーデン」(2013)、「渴き」(2009)、「サイボーグでも大丈夫」(2006)、「親切なクムジヤさん」(2005)、「美しい夜、残酷な朝」(2004)、「オールド・ボーイ」(2003)、「復讐者に憐れみを」(2002)、「JSA」(2000) など

パク・チャヌク監督

パク・チャンギョン 監督作品



<만신／Manshin>(2013 公開準備中), <안양에／I want to be born again in Anyang>(2010), <신도안／Sindoan>(2008), <비행／Flying>(2006), <파워통로／Way of Power>(2004) など

パク・チャンギョン監督

###